

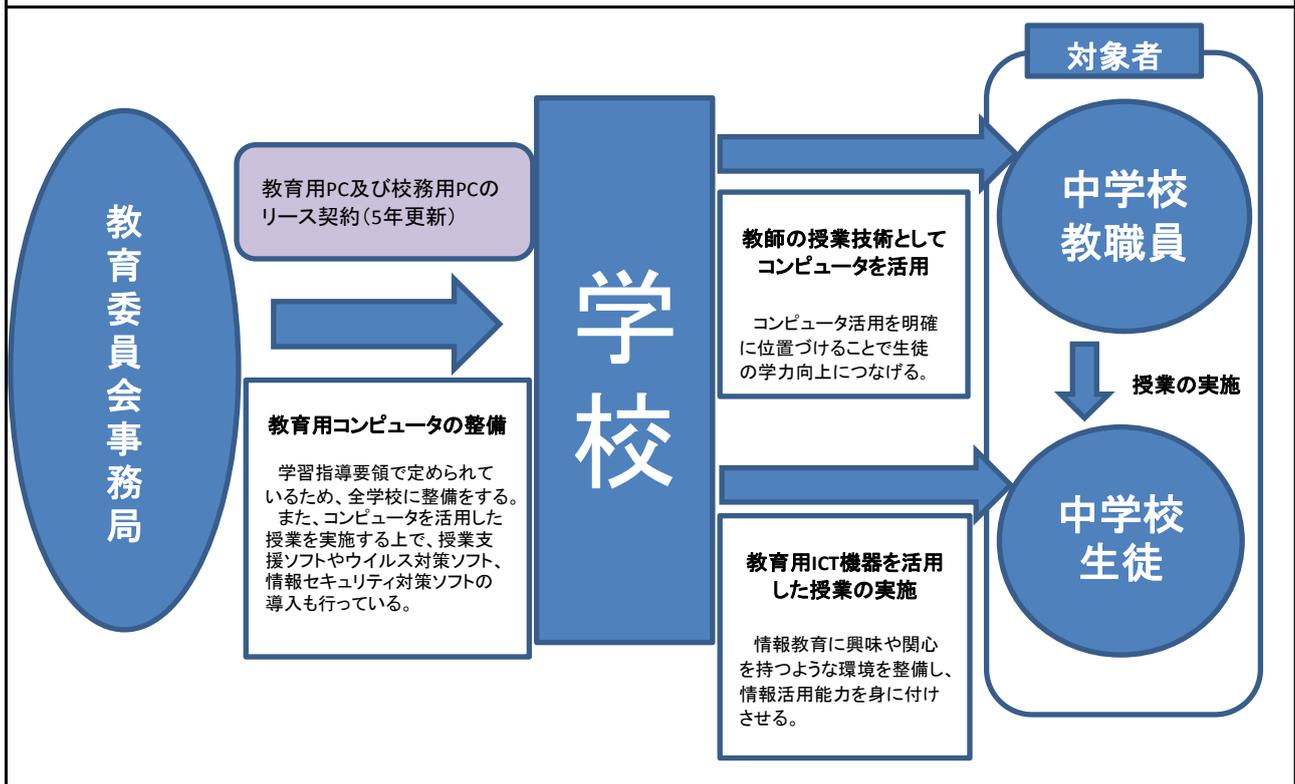
施策： 小・中学校教育の充実

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 中学校教育用コンピュータ活用事業	現状維持	予算額	17,741 千円
		《 》	17,734 《 》
財源内訳	国庫支出金	0 千円	
	県支出金	0 千円	
	地方債	0 千円	
	その他	0 千円	
	一般財源	17,741 千円	

【事業の目的・概要・対象】

- 対象者 市内の中学校6校の生徒及び教職員
- 目的 「技術・家庭」の技術分野において「情報とコンピュータ」が必修化されており、情報教育の中心となる情報活用能力の基礎が身につくようにする。他教科においても、教師の授業技術としてコンピュータ活用を明確に位置づけることで生徒の学力向上につなげる。
- 事業概要 教育用コンピュータ及び教師用コンピュータが最適な状態で使用できるよう配置・整備するとともに、必要な授業用ソフトを導入する。



【背景】

学習指導要領に定められているため、教育用ICT機器を整備することとしている。

担当課	教育委員会 学校教育課	問合せ先	0957-53-4111 (内線379)
-----	-------------	------	----------------------

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	パソコンの整備台数	台	82	31	41	261	41
②	パソコンの設置台数（生徒数/現有台数）	人/台	8.12	7.42	7.42	7.42	7.42

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①							
②							

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	8,404	9,665	13,382	17,734	17,741	17,741	84,667
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	8,404	9,665	13,382	17,734	17,741	17,741	84,667
人件費	1,285	1,058	1,336	1,015	1,015	1,015	6,724
職員	0.17人	0.15人	0.17人	0.13人	0.13人	0.13人	0.88人
時間外勤務		0h	50h	35h	35h	35h	155h
嘱託員							0.00人
フルコスト	9,689	10,723	14,718	18,749	18,756	18,756	91,391

妥当性 (市の関与)	学習指導要領の総則及び学習指導要領解説総則編において、教師がコンピュータの適切な活用を図ることについて記述されているため、学校設置者が整備する必要がある。
有効性 (施策貢献度)	情報社会の発展などの社会の変化を踏まえた特色のある教育活動である。
効率性 (コスト)	授業で必要とされる設備を最小限の費用で事業を実施している。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり